

優秀実践校、団体の紹介

○鈴鹿市立井田川小学校

(すずかしりついがわしょうがっこう)

平成29年度から、学校図書館計画をはじめとした各種計画に基づき、学校図書館の環境整備、読書指導、読書関連行事等を行い、学校図書館教育の充実を図っています。

特に学校行事として、「としょかんまつり」を開催し、図書委員会が中心となって校内読書ゆうびん（友だちにすすめたい本を郵便という形で紹介し、使用後の郵便は図書室に展示されている。）に取り組むほか、縦割り班活動による「リーディングボディ」（上級生が下級生に読み聞かせを行う）といったユニークな実践を実施しています。

○伊賀市立上野東小学校

(いがしりつうえのひがししょうがっこう)

全学年で「ビブリオバトル」（5分以内に自分の好きな本をプレゼン方式で紹介する書評合戦）を実施するほか、授業として「読書」の時間を確保し、学級単位で図書室の利用を促進しています。

特にDEN（デン）スペースを有効活用して読書活動の充実に努めています。なお、DENとは「書斎などに用いる小部屋」という意味であり、同校では廊下や階段下のフリースペースで座って自由に読書ができるようカーペットを敷き、書棚を備え、図書館だけでなく学校のフリースペースを使って、気軽に読書ができるように取り組んでいます。

○三重県立津高等学校

(みえけんりつつこうとうがっこう)

スーパーサイエンスハイスクール指定校として蔵書の充実に努め、探究的な学習を促進するためのICT等の環境整備を行うなど、学校図書館を活用した学びを促進するとともに、本を活用した講義・フィールドワーク、講演会や地域の調査・執筆活動などの特色ある図書館講座を充実させ、生徒のニーズに応えた読書活動を多面的に推進しています。

コロナ禍における学校の臨時休業中にも、生徒の読書活動を止めることなく、読書支援を行ってきました。

また、昭和25年に三重県学校図書館協議会が設立されて以来、同校は三重県学校図書館協議会事務局（校長が会長に就任）として、県内の読書活動に対する側面支援を行っています。

○紀宝町学校支援本部「元気キッズ」（紀宝町）

(きほうちょうがっこうしえんほんぶ「げんききッズ」)

これまで19年間にわたり、学校と連携した「読み聞かせ活動」を、「元気キッズ」が中心的な役割を担い、実施してきました。

同団体（地域の読み聞かせの代表者）が、各学校の代表者、図書館の職員との連携や情報交換を行うことにより、地域に根ざした読み聞かせ活動が実現されています。